

2023年4月10日
イオンフードサプライ株式会社

兵庫センターで太陽光発電 PPA モデル導入開始

～脱炭素社会の実現に向けた取組みを加速、再生可能エネルギー活用の拡大～

イオンフードサプライ株式会社は、脱炭素社会の実現に向けて再生可能エネルギーの活用を図るため、兵庫県姫路市で運営する「兵庫センター」で、当社としては中部センターに続いて、2センター目の太陽光発電のPPAモデル※を2022年11月に導入し、本年4月より本格稼働致しました。

兵庫センターの屋上スペースをPPA事業者を提供し、同事業者が設置した太陽光パネルで発電された電力を、当社の自家消費分として購入・活用します。これにより、兵庫センターで使用する電力のうち、約12%が再生可能エネルギーとなり、年間約203tのCO₂が削減できる見込みです。

イオンは、2018年に「イオン脱炭素ビジョン」を策定し、現在は、2040年までに店舗で排出する温室効果ガス（以下、CO₂等）を総量でゼロにする目標に、グループを挙げて取り組んでいます。当社も、同様に取組みを進めており、今回のPPAモデル導入はその一環です。

今後は、当社が運営する他のセンターにもPPAモデルの導入を拡大し、省エネに加えて、再生可能エネルギーの創出・活用にも積極的に取り組んでまいります。

※PPAモデル：「Power Purchase Agreement（電力販売契約）モデル」の略で、PPA事業者が電力需要家の敷地や屋根等のスペースに太陽光発電システムを設置し、そこで発電した電力を電力需要家に販売する事業モデル

<兵庫センター>



<設備概要>

対象施設	イオンフードサプライ株式会社 兵庫センター
所在地	兵庫県姫路市白浜町甲841番51
太陽光パネル設備容量	461.44kW
太陽光パネル枚数	824枚

イオン 脱炭素ビジョン

イオンは3つの視点で温室効果ガス(以下CO₂等)排出削減に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献します。

- 店舗** 店舗で排出するCO₂等を総量でゼロにします。
- 商品・物流** 事業の過程で発生するCO₂等をゼロにする努力を続けます。
- お客さまとともに** すべてのお客さまとともに、脱炭素社会の実現に努めます。

中間目標 2030年までに店舗使用電力の50%を再生可能エネルギーに切り替え(国内)

達成手段の考え方 イオンのCO₂排出量の約9割が電力由来 ▶ 店舗使用電力の削減と再エネ転換

省エネ
再エネ

【これまでの取り組みの進化】



2021年7月改訂

【本件に関するお問い合わせ先】

イオンフードサプライ株式会社 総務部 Tel 047-431-8396